

一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

2020年度

合同成果発表会抄録集



令和3年1月24日(日)

イラスト：@いらすとや

VAB

目 次

NO	演 題 ・ 所 属 ・ 氏 名	頁
1	旭川高専生向けアプリ開発 旭川工業高等専門学校 機械システム工学科5年:櫻井 琢 電気情報工学科5年:太田 葵、システム制御情報工学科5年:川合 凌 物質化学工学科5年:高島 大聖	4
2	寒締めハウレンソウの栽培システムの開発およびその実証実験 旭川工業高等専門学校専攻科 応用化学専攻1年 岩瀬 恵里	4
3	電磁石と小型ネオジウム磁石の吸引力を利用した 磁気浮上装置の開発 旭川工業高等専門学校専攻科 生産システム工学専攻1年 藪田 陽介	5
4	看護学生の実習における心理的影響についての文献検討 ～実習で得られる有益な効果に着目して～ 旭川医科大学医学部看護学科4年 池田早希、及川礼夏	5

5	<p>災害急性期の避難所での看護職の役割に関する文献検討</p> <p>旭川医科大学医学部看護学科4年 佐々木優衣、佐崎美矩</p>	6
6	<p>“北のゆめちから一めん”の製品開発論</p> <p>～即席袋麺化に挑戦する～</p> <p>旭川大学経済学部経営経済学科 江口ゼミナール</p> <p>岩井柊弥、佐々木湧哉、堀川太雅、川端はるか、鈴木淑仁、 上伊澤菜摘、藤田篤弥</p>	6
7	<p>旭川大学経済学部学生に見る性別役割分業の現状と課題</p> <p>旭川大学経済学部経営経済学科 黒川ゼミナール</p> <p>代表:小野史絵(2年)</p> <p>3年:前澤賢頼(ゼミ長)、村井省太、佐藤心太、村上廉、中井龍太郎</p> <p>2年:栗谷川拓巳、鬼塚晃任、中村龍哉、中橋悠、菊地亮汰</p>	7

演 題

1 旭川高専生向けアプリ開発

所 属:旭川工業高等専門学校

機械システム工学科5年:櫻井 琢、電気情報工学科5年:太田 葵、
システム制御情報工学科5年:川合 凌
物質化学工学科5年:高島 大聖

高専生は5年間、学年に応じて勉学や進路、取り組むべきことに悩む。そこで旭川高専生にターゲットを絞り、より勉学に励めて時間を有効活用できるようサポートするアプリを開発した。アプリで実装した機能は2つ。1つは現在の生活スタイルに対してアドバイスを受ける機能。もう1つは自分のいる場所から希望の教員室まで案内してくれる地図機能。Google Playに公開することもできた。

2 寒締めホウレンソウの栽培システムの開発

およびその実証実験

所 属:旭川工業高等専門学校専攻科 応用化学専攻1年

氏 名: 岩瀬 恵里

寒締めホウレンソウは冬期間の低温下で栽培されており、市場に出回る時期も冬季限定のため市場価値が非常に高い野菜である。そこで、室内で年中安定的に栽培供給が可能で、低コストかつ省エネルギーな栽培システムの開発を目指し、その実証実験を行った。養液を冷却した水耕栽培システムにより、栽培中のホウレンソウの根を冷やすことで一般的なホウレンソウと比べ、糖度が2 Brix%以上高い寒締めホウレンソウを栽培することができた。

3 電磁石と小型ネオジウム磁石の吸引力を利用した磁気浮上装置の開発

所 属：旭川工業高等専門学校専攻科 生産システム工学専攻1年

氏 名：藪田 陽介

磁気浮上系の多くの応用例では重量物を浮上対象としている。本研究では、小型軽量のネオジウム磁石を浮上対象として磁気浮上系の構築を目的とする。磁力の吸引力を利用した磁気浮上系では、磁力を制御することで安定浮上させることができる。ただし、小型軽量な浮上物体の素早い動きに対応させて高速なフィードバック制御を実現する必要がある。本研究では PSoC(Programmable System on Chip)を用いて制御コントローラを構築する方法について検討した。

4 看護学生の実習における心理的影響についての文献検討

～実習で得られる有益な効果に着目して～

所 属：旭川医科大学医学部看護学科4年

氏 名：池田早希、及川礼夏

実習が学生にもたらす有益な効果の要因を明らかにし、学生が実習に前向きに取り組めるようになるための心の準備方法について先行研究により明らかにすることを目的として文献検討を行った。その結果、最終的に得られた6文献から 124 のコード、20 のサブカテゴリと、4つのカテゴリが抽出された。これらの分析から、学生は人々との関わりの中で、患者や看護師が温かく接してくれること、学生同士で気持ちを共有すること、患者が良い方向に変化することを実感することで、安心感や意欲の向上など有益な効果を感じる事が示された。

5 災害急性期の避難所での看護職の役割に関する文献検討

所属：旭川医科大学医学部看護学科4年

氏名：佐々木優衣、佐崎美矩

本研究は、災害急性期の避難所において看護職が果たしている役割を明らかにし、今後の避難所の看護のあり方への示唆を得ることを目的に検索して得られた文献から避難所における災害急性期の看護実践を示す内容を抽出し、コード化した。各コードの類似性により得られた9カテゴリから、災害急性期の避難所における看護職の役割として、診療の補助や日常生活、環境整備等に加え、協力体制作りや支援者へのケア等が明らかとなった。看護職は、被災地の支援関係者及び被災者との関係の構築、連携調整を行い、チームで継続的な支援につなげる調整役となることの重要性が示唆された。

6 “北のゆめちから一めん”の製品開発論

～即席袋麺化に挑戦する～

所属：旭川大学経済学部経営経済学科 江口ゼミナール

氏名：岩井柊弥、佐々木湧哉、堀川太雅、川端はるか、鈴木淑仁、

上伊澤菜摘、藤田篤弥

JA東旭川と共同した即席袋麺「北のゆめちから一めん」の開発プロセスを報告する。①東旭川産の小麦(ゆめちから)を100%使用した麺。②地元産の醤油とラードを使った特製だれ。③地元を描いたパッケージデザイン。“地元の魅力を発信したい”という想いで、全て地場企業の協力で制作した。完成に1年6カ月を要し、江口ラーメンの味も再現できた。現在は市内4店舗で販売中。ONLINE食べマルシェでは全国に魅力を発信した。

7 旭川大学経済学部学生に見る性別役割分業の現状と課題

所 属：旭川大学経済学部経営経済学科 黒川ゼミナール

氏 名：代表：小野史絵(2年)

3年：前澤賢頼(ゼミ長)、村井省太、佐藤心太、村上廉、
中井龍太郎

2年：栗谷川拓巳、鬼塚晃任、中村龍哉、中橋悠、菊地亮汰

我が国では男女の区別なく自己実現可能な社会を実現すべく、男女共同参画社会基本法が制定されており、国レベルでは男女共同参画担当大臣が置かれているところである。しかし、現実にはいまだ社会の中に性別役割分業が根強く残っており、女性の社会進出を妨げている。そこで、旭川大学黒川ゼミは、旭川大学経済学部の学生にアンケートを実施して学生の認識を確認しつつ、今後の課題を明らかにすべく、動画を作成し、座談会を実施した。本報告は、性別役割分業を克服すべく検討を重ねた学生たちの成果である。

VAB



一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

連絡先：旭川市1条通8丁目108 フィール旭川7階

電話：0166-26-0338

URL：<http://www.awbc.jp/>